

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2016年8月1日 155号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



フアン・アフアラ副大統領一行が来訪

パクー稚魚を放流

パクー養殖とタロイモ栽培に大きな期待

六月三十日、副大統領と国会議員ら二十数名一行をレダ基地に迎えました。今回、副大統領が自分から参加したいと言われ、警備兵が急遽二機の飛行機で動員されました。一行は、去る五月六日の放流式に参加するためレダ基地上空まで飛んで来ながら、悪天候で飛行機が着陸できず、残念な思いを抱きながら、今回の機会を待っていました。

アフアラ副大統領は、一昨年以来、二度目の来訪です。レダ基地の活動に非常に感銘されていて、八名の国会議員たちを前に、レダプロジェクトの価値を直接訴えられていました。タロイモ水田では芋を切り出して口に、「自分はタロイモの父になって広めたい」と口にされました。タロイモからパウダーを作るプロジェクトは人類の飢餓問題の克服につながるもので、粉を作る機械を提供したいとも表明されました。またパクーの孵化と放流にも高い評価をされ、「レダはパクーとタロイモの事業をやるだけで十分価値がある」と強調されました。

参加された国会議員全員が非常にレダの活動に感動して喜んでくれ、提唱者の文先生にも関心を深め、その自叙伝を皆持って帰りました。今までに来訪したゲストの中で、

最もレダのプロジェクトを本質的に理解してくれたVIPであったという意義は大きいです。

今回のパクー稚魚放流とレダ基地のツアーには、カサドの市長、パラグアイの平和大使など、女性も数名参加しました。(写真と文＝伊達、次面に関連記事)



タロイモ水田のフアン副大統領

アフアラ副大統領来訪

今回は、副大統領と十分に話す機会がありました。また、レダ基地内を巡りながら、実行中の各種プロジェクトを詳細に紹介することができました。

佐野氏はパワーポイントで、なぜレダなのか、文先生が南米、とりわけパラグアイを

ただけ重要に思い、準備をしてこられたかを中心に、レダプロジェクト全体を説明しました。

貧困からの解放と、環境問題、公害問題、食糧問題の解決、それらが、文先生によって、パラグアイに根付き始めていることを伝えました。

副大統領は自身の知事時代に、農業に力を入れていました。今回タロイモを自ら掘ってみて、一つの親芋から20キログラムの子芋が取れるので、これを粉にすることで、食糧問題の解決の



アフアラ副大統領が稚魚を放流する。



パラグアイ川に放流される稚魚の説明を聴く。



大食堂に移動する副大統領一行。



レダプロジェクトを講義する佐野氏。



小橋氏作ソーセージの説明と試食。



タロイモ栽培を説明する中田所長。

手掛かりとなると確信されたようです。(タロイモの成分分析をしてあげる、また製粉機を支援したいと約束) 粉末として製品化すれば、スパゲティにもできるし、応用性があります。

また前回のパクー放流時にタグを付けて放流しましたが、上流のエスペランサの付近で、二匹が釣られました。今回もタグを付けた魚を放流しました。国会議員たちも、この放流の重要性に大変に感動していました。

ピラニアやパクーのソーセージは、骨を除くのであるのでヒレやミラネサにもなり、これもお

米国からの訪問者

今回の副大統領一行は、パクーの養殖とタロイモ栽培に大きな関心をもって、今後の連携を期待しながらレダ基地を後にされました。



昼食の時間にも熱心に懇談する。

いしく、応用性があります。小橋さんの作る製品が一級品であることも感じてもらえました。また、カピバラがよくなくて、そのかわい姿にもびつくりしていました。



エヴァン氏とカウフマン氏



公館にて、記念撮影。(6月13日)

訪問し、レダの未来や、エスペランサ村の具体的な支援などについて活発な話し合いがなされました。最後に、釣り、乗馬、記念植樹をして、チャーター機でアスンシオンに出発しました。(伊達記)



★チヨピ (ミソバシクロムクドリモドキ)

チヨピは、全身が真っ黒な小鳥である。しばしば大小の集団を成し、あたかも黒雲が生きものになったかのように飛ぶ。この様は、海中でイワシの大群が泳ぐ映像と似ている。

かつて私たちのパンタナール実験農場で、水稲が初めて穂をつけたとき、チヨピの集団が来て、あらかた食い尽くしてしまった。それ以来チヨピと、これまた田畑の作物を好む緑のインコたちに悩まされ続けている。とにかくこの二種は数



チヨピの小集団

が多い。両者は連合軍のようになり、一つの群れになることがある。数百羽のチヨピ軍と数十羽のインコ軍という編成である。稲穂をつけた水田はネットですぐ覆う。しかし頑丈で器用な嘴を持つインコが網を破り、チヨピが潜り込み、両者が競うように穂をついばむ。網に絡まったりして、若干の犠牲者

は出る。しかし仲間の屍を見てひるむような鳥たちではない。連日あたかも通勤するかのようによって来ては食べ続け、ついには食べるところが無くなるまで食い尽くすのである。この点、川に棲むピラニアと似ていなくもない。

さて、ある朝目覚めると、寝室にイナゴが出た。廊下に出ると、さらに多くのイナゴ。外に出ると、何と、あたり一面イナゴばかりである。夜のうちにどこから飛んで来たのか、これは大きな被害が出るのでは、と危惧した。

しかし、私たちには強い味方がいた。いつも我が物顔に飛び回っている、タイランチョウ、カラカラ、そしてチヨピたちである。有り余るほどの据え膳を、みな遠慮なく腹に収めて行く。私はこの時まで、チヨピが肉食よりも草食を好むと思っていた。翌日は鳥の数が急増し、翌々日、イナゴは姿を消した。鳥たちを嫌って移動したのかどうかは判らない。結局、イナゴによる目立った被害はなかった。

ほとんどの鳥は、虫の天敵である。だからと言うわけではないが、私たちはチヨピもインコも駆除したことがない。元々ここは、鳥や虫た



さえずるチヨピ

ちの楽園である。そこに鳥がいても、虫がいても成り立つような農法を研究しているのである。さて、純粋に真っ黒な姿のチヨピだが、その声は美しい。すき通った声を多彩なメロディーに乗せて、ひたすらさえずり続ける。

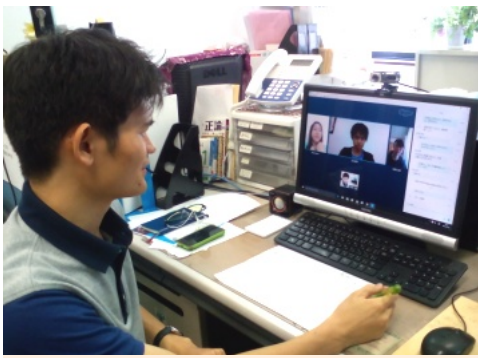
ところで、レダには赤、黄、白など、各種の目を引くタイランチョウ科の小鳥たちもいる。しかし、彼らは繁殖期以外にはほとんどさえずらない。他方、アトリ科の小鳥たちの多くは、季節を問わず、にぎやかに歌う。その中でもチヨピは、歌うために生まれてきたかのように、熱



チヨピとインコの混成群

心に歌う。配偶者を求めて？ 縄張りの宣言？ 練習？ そういう場合もあるかもしれないが、いずれにも該当しないような場面がある。時には、わざわざ人が仕事をしているすぐ傍にやって来て、ひたすら美声を披露してくれたりする。「♪ねえ、聴いて、聴いて！」と訴えているようにさえ思えるほどだ。真実は、チヨピに聞いて見なければ分らない。パンタナールの自然には不思議が多い。

(スズメ目 アトリ科
グアラニ名: Chyopi=チヨピ) (小田記)



顔を見ながら、ビデオ通信による集会

最後に先輩たちからは「挑戦してほしい！」というメッセージが伝えられ、今年参加する山崎さんは「思った以上に凄いつアーだと分かり、とても楽しみになりました」と感想を述べました。（島田記）

第4回ASD青年集会をビデオ通信で開催！

七月二日（土）午前十時より、インターネットのビデオ通信を通して青年集会が行われました。テーマは、「相続と準備」。

青年奉仕隊の参加者が決定し、彼らが準備するにあたって、先輩たちからアドバイスをもらう場として企画されました。地方からも参加できるよう、また六月からアスンションに行っている土佐くんの話が聞けるよう、オンラインでの開催となりました。

昨年の奉仕隊を機に留学を決意し、台湾に渡った矢嶋さんも参加し、国際的な集まりになりました。

それぞれの自己紹介から始まり、近況報告、質疑応答と続きました。今年参加する人からの素朴な疑問に、先輩たちから楽しいエピソードを交えた実感こもるアドバイスがありました。蚊対策、移動の多さ、施設、文化の壁などさまざまな話で盛り上がりました。現地にいる土佐くんから「今年のパラグアイは寒いので要注意！」とタイムリーな情報を得ることもできました。

UPF青年奉仕隊がオリンポの学校を修理

今年もUPF隊がやって来ました。世界11か国から集った21名の青年たちが、アスンション、オリンポ、レダにおいて植樹、修理、スポーツ・文化交流などで奉仕します。（次号で特集予定）



古い校舎をきれいに塗装（7月8日）

引き続き、第十六回国際協力青年奉仕隊活動へのご支援をお願い致します！

今年の第十六回青年奉仕隊の活動地は、パラグアイ共和国、パンタナール地域です。青年奉仕隊員たちが、できるだけ多くの住民に、より



泥田の中でタロイモ収穫体験

多くの時間、奉仕できるよう、ご支援をお願い致します。使い残された、はがき、年賀はがき、書き損じはがき、未使用の切手などを下記の事務局あてお送りください。また支援金も感謝してお受けいたします。

支援金送り先〓郵便口座 記号 10280
番号 61349751 一般社団法人 南北米福地開発協会

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール：office@asd-nsa.com

ホームページ：http://asd-nsa.com

会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

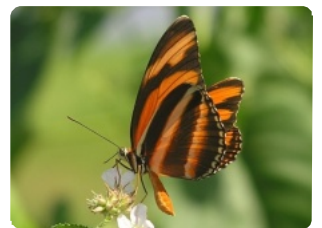
00290-5-113072

加入者名：シャ 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申し付けください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局 office@asd-nsa.com へお願いします。